

法律相談、市政・生活相談は

関野 隆司 /Fax 42-0316
住所 曾我岸90
原田 敏司 /Fax 48-4938
住所 南鴨宮2-24-14
田中利恵子 /Fax 35-5389
住所 扇町 1-6-2

下記へ御連絡
ください



議会活動報告紙

日本共産党小田原市議団
小田原市荻窪300番地
Tel 33-1789
日本共産党小田原市議団ホームページ
http://jcpodawara.kun.jp/

12月議会
共産党三議員の
一般質問

今こそ市民の命と健康を大切に!

小田原市立病院の医療の一層の充実をめざして



田中利恵子議員

国の「医療改革」は
地域医療を崩壊させる

田中利恵子議員は、国の「医療改革」が、全国的な医師不足、診療報酬の引き下げにより病院経営の圧迫や公立病院の再編・統合など、地域医療を崩壊させる恐れがある。基幹病院、小田原市立病院に大きく関わる問題として、医療改革に対する市長の見解を求めました。



小田原市立病院

田原市立病院にも見られるような診療体制の縮小、公立病院の統廃合など、院内に追い込まれていくところも深刻な状況

産科医の当直は月に10日
連続30時間も勤務

態を招いているとその本質に迫りました。市長からは「地方の一部の病院の廃院は胸が痛む、市民に安心安全な医療を提供できる体制づくりに努めていく」などと答弁がありました。

次に田中議員は日本医師連が行った医師の調査では医師の勤務時間は1日平均で、10・6時間。月の当直回数平均は3・0回、81・5%の医師が当直明けもそのまま通常勤務についている。連続しての最高勤務時間の平均は32・4時間。小田原市立病院では産婦人科は平均で月に8回、月に10日も当直をしている医師もいる。小児科は34回など。また医師は患者のリスクと常に向かい合っているという重責を抱えている。このような実態をどのように受け止めているのか、また、できることから改善をすべきではないかと市長に見解を求めました。市長は「医師に感謝し、医師の確保が重要」と答弁しました。

医師の確保に全力を

最後に田中議員は医師確保には、労働に見合った給与の大幅アップや、院内保育の24時間化などで、女性医師の働く環境の充実をすべきと提案しました。市長は「医師から見て働きたいと思える魅力ある職場づくりや女性医師等が継続して勤務できる体制の整備も、医師を確保していく上で重要なポイント、出来ることから順次見直していきたい」などと答弁がありました。その他、地域作業所の運営費の増額昨年11にあった城山2丁目の火災などに関し、防災・消防の充実を求めて質問しました。

後期高齢者医療制度の中止を
市は介護保険料の軽減を



原田敏司議員

高齢者いじめの
後期高齢者医療制度

原田敏司議員は、4月から実施する後期高齢者医療制度を中止・撤回するよう国に求めよと迫りました。

な高齢者いじめ、差別医療につながる後期高齢者医療制度は、4月からの実施を取り止め撤回するよう国に強く求めべきだと主張しました。

「介護保険料の激変緩和措置
を継続する」と答弁

次に原田議員は、平成18年度の介護保険料改定と住民税の大幅引き上げにより、平成20年度も3年連続して介護保険料が上がる人がいるが、軽減措置を図るべきと質しました。

市長は「約3880人の市民が3年連続して上がる予定だったが激減緩和措置を継続し、平成20年度の引上げは行わない」と答弁しました。

引続き下菊川の
水害対策を求める

最後に原田議員は、下菊川下流酒匂地域の水害対策について、対策工事は効果があつたがまだ万全とはいえず、住民や自治会とよく協議し、引き続き水害対策を進めるよう求めました。



下菊川支流の両側に漏水防止壁



# 小・中学校の校舎等 改修・建設計画を立て促進を



関野隆司議員

## 小・中学校の校舎等 耐震補強工事の早期完了を

関野隆司議員は、小・中学校の校舎等の耐震補強工事を行っていないのは曾我小学校のみ。幼稚園では前羽のみ、屋内運動場では、小学校で富水、下府中、桜井、曾我小が、中学校では全校が耐震補強工事がなされていない。党議員団が一貫して求めてきたが、早急に完了させるべく年次計画を明確にして推進するよう求めました。

次に平成18年度の決算では、小・中学校の施設要望に対し、金額において5億5591万円余必要なのに、実施は3億4861万円余と実施率62.3%です。これでは学校や市民の要望に応えられていない。要望されているエアコンの設置やトイレの改修、雨漏り等に対応出来るよう予算を増額し、校舎等の改修・改築・建設計画を立て推進すべきと質問しました。

## 学校施設等の耐震化平成21年度の完了を目標と答弁

市長は、「小・中学校の校舎において、耐震補強工事は曾我小を除きすべて完了。屋内運動場の耐震診断の結果、補強工事が必要な小学校14校、中学校11校のうち10校完了している。市立幼稚園については、補強が必要な4園のうち3園で補強工事が完了している。学校施設及び幼稚園の耐震化について

は曾我小学校の校舎及び前羽幼稚園の園舎を含めて、平成21年度の完了を目標に整備を進めてまいりたい。学校施設の老朽化に伴う将来的な改築等の計画については、今後検討してまいりたい」と答弁しました。



## 上府中公園の 多目的広場の排水対策 スコアボードの電光掲示を

次に上府中公園の多目的広場は排水が悪く、降雨後すぐには使えない。近隣の砂ぼこり対策も含め排水対策を行い、小田原球場のスコアボードを全面的に電光掲示できるように改修すべきと質問。

市長は、「多目的広場の雨水排水は、透水管が老朽化し目詰まりしている。スコアボードの改修は、多額の費用が必要となる。公園全体の改修計画で優先順位を判断したい」と答弁。

## 山岸川支川の土石流対策を

最後に、台風9号で氾濫した山岸川支川の土石流対策を求めたのに対し、市長は「集落内に堆積した土砂は市で撤去したが、上流部は県の保安林指定の区域であり崩落場所が保安林に指定されている。今後の災害防止対策について、県に引き続き要望する」と答弁しました。

平成19年 9月議会  
建設経済常任委員会

# 小田原駅東口お城通り地区再開発事業の

# 補正予算の「修正案」採決

## ＝本会議では原案可決＝

## 立体駐車場用地取得・コンベ ンション負担金は認められない！

いま小田原市主導で小田原駅東口の駐車場に地下1階地上8階建ての大型商業ビルを建設する計画が進められています。

平成19年9月議会に、この小田原駅東口お城通り地区再開発事業に係る補正予算が上程され、これを審査した建設経済常任委員会に本事業に問題があるとの立場から補正予算の「修正案」が提案され、委員長を除く8人の委員のうち5人の委員が賛成し採択されました。委員会で補正予算の「修正案」が採択されたのは極めて異例のこと。

補正予算の中身は、

新たに立体駐車場を造る計画に変更し、小田原市土地開発公社が所有する用地を取得するため債務負担行為（後年度の借金）を設定する（10年間で約27億7千万円）

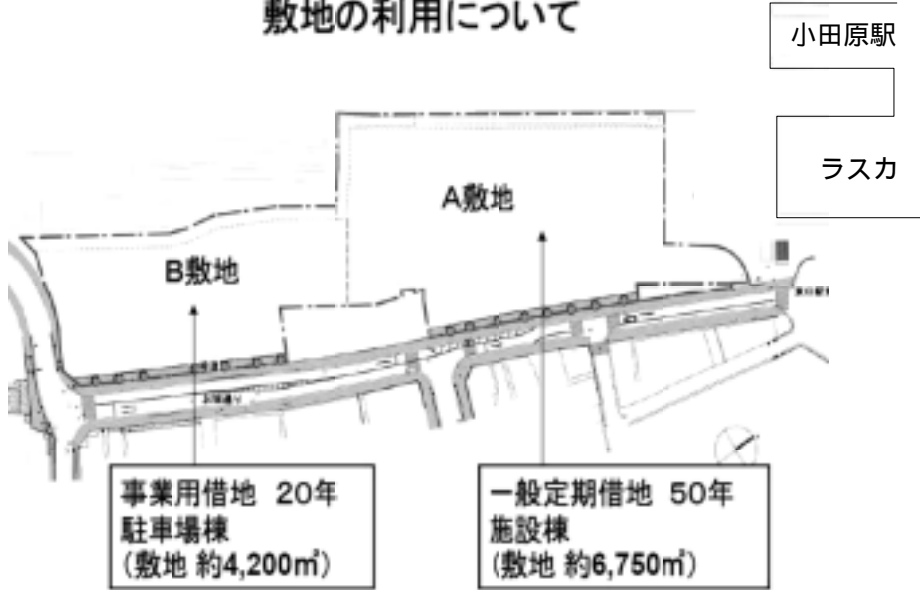
再開発ビルの中に設けるコンベンションホール等に毎年市が補助金を出したための債務負担行為を設定する（実質20年間で18億4600万円）というもの。「修正案」はこの二つの債務負担行為を削除すべきとするものです。

本会議において「修正案」は8人の議員の賛成を得ましたが否決されました。しかしながら議会の中から公に本事業に見直しを求める声が上がったと言えます。

## 6つの商店会(中心市街地)から「計画の見直し」を求める陳情が

9月議会に小田原駅周辺の6つの商店会から、本事業は駅周辺の商店街の営業を圧迫する恐れがあるとして、「計画の見直し」を求める陳情が出され、建設経済常任委員会で審査し継続審議となりました。

敷地の利用について



日本共産党の  
無料法律相談

担当 岡村 三穂  
弁護士

次回2月5日(火)  
3月11日(火)  
午後1時より

予約制ですので、相談される方は、関野、原田、田中までお申し出ください。